

業態別発育状況

前段までは体位の全国的傾向について述べてきたが、更にこれを生産者世帯と消費者世帯に分けて観察してみよう。

まず身長、体重について対前年の増減をみると男子の場合は身長、体重とも生産者世帯と消費者世帯と

第34表

業態別体位の比較 (男子)

昭和35年度成績

年 令	身 長 (cm)		体 重 (kg)	
	消費者世帯	生産者世帯	消費者世帯	生産者世帯
0才	66.1	64.4	7.66	7.14
1	78.2	77.3	10.39	10.04
2	86.2	84.5	12.31	12.00
3	94.2	92.3	14.35	13.59
4	100.2	98.8	15.53	15.44
5	105.4	103.9	17.47	16.74
6	111.1	110.4	18.92	19.18
7	117.3	116.4	21.10	21.08
8	121.8	120.6	23.52	22.98
9	129.0	126.6	25.56	25.84
10	131.7	129.3	27.84	27.26
11	136.5	134.7	30.78	29.84
12	141.6	139.8	34.44	33.74
13	148.5	145.8	39.50	38.30
14	154.2	152.4	44.08	43.42
15	158.4	158.7	49.34	49.80
16	162.0	159.3	53.22	51.74
17	163.8	162.9	54.88	55.50
18	163.0	162.0	56.16	55.26

の両者を通じ全国的傾向と余り変りはない。

しかしながら女子の場合にあっては、生産者世帯で身長、体重とも前年に比べかなりの向上がみられる。たとえば10~17才の年齢における体重は1kg前後、特に13才では2kgも増加しており、その伸びは顕著なものがある。しかし消費者世帯においては女子の場合も余り大きな変化はない。

以上述べたように本年は、農村部の体位の伸びが、都市部の伸びを大きく上回り、従来著しく立遅れていた状態から漸く改善の傾向をみせている。

6. 歯 牙 異 常

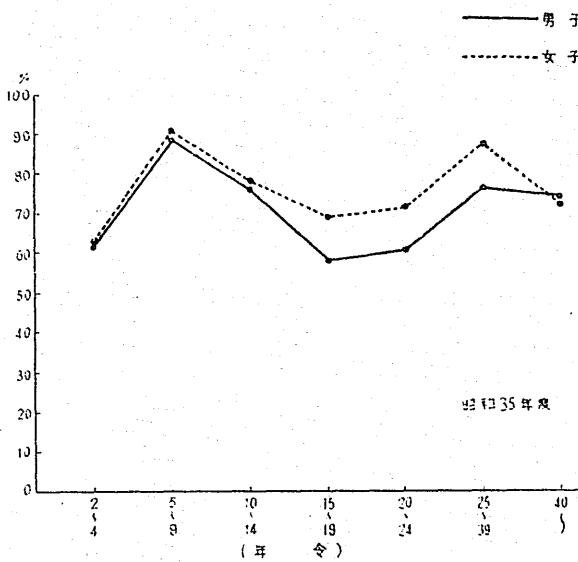
1) 年次別発現率

国民栄養調査では栄養摂取状況調査と併せて欠損歯、う歯等の歯牙疾患にどれくらい罹患しているかを調査している。このうちう歯についてはその発生状態を年次別にみると年々増加の傾向にあり35年度成績では男子74.2%、女子78.5%で前年の男子71.9%、女子76.5%の有症率を大きく上回っている。

次に1人当りのう歯の数については男子5本、女子6本で31年から依然として変化がみられない。

ただしこのう歯の数については処置歯、未処置歯にわけて調査していないのでその内容の実態については

第4図 う歯の性別、年齢階級別発現率



明らかでない。また欠損歯の保有者率をみると年次別には大差がみられないが、男子よりも女子の有症率が高く35年度成績では男子の36.6%に対し女子は43.3%となっている。更に1人当りの欠損歯数においても、男子の8本に対して女子は10本となっている。

ただし欠損歯については33年まではその定義も簡単で乳歯から永久歯への交換期以外の時期に明らかに欠損している歯はすべてこの中に含めたが、34年から抜去された永久歯のみをさし乳歯、智歯の場合は例え抜去してもこの中に含まないこととしたので、この点注意が必要である。

2) 性別、年齢階級別発現率

次に性別、年齢階級別に欠損歯、う歯の発生状況を見ると、第4図のとおり殆んどすべての年齢層において女子の有症率が高い。ただし欠損歯については5~9才の男子の方が若干高く、う歯については40才以上の男子の方が高い。年齢別にう歯の有症率の最も高い年齢層は5~9才で男子88.2%、女子90.5%であり、全く正常なものは10%前後にすぎない。またう歯は前年に比べて10~14才以上のすべての年齢階層において増加の傾向がみられる。

3) 業態別発生率

う歯の発生状況を各業態別にみると、その他の世帯が男子86.8%、女子88.7%と最も高く、次いで消費者世帯の男子、73.9%、女子78.6%であり、最も低いのは生産者世帯で男子72.4%、女子76.5%となっている。欠損歯についても男女ともその他の世帯が最も発現率高く男子40.1%、女子47.4%となっているが、次に高いのは生産者世帯であり、消費者世帯は最も下回っている。

第35表 欠損歯の年次別発現率

年 度	有 症 率 %		1人当り本数 本	
	男	女	男	女
29 年	34.7	41.9	8	9
30 年	34.5	41.7	7	9
31 年	35.9	43.5	8	10
32 年	35.7	44.3	8	10
33 年	37.6	45.3	8	10
34 年	36.7	44.2	8	9
35 年	36.6	43.3	8	10

第36表 う歯の業態別発現率 35年5月

	有 症 率 %	
	男	女
生産者世帯 {	72.4	76.5
1人当り本数	5	6
消費者世帯 {	73.9	78.6
1人当り本数	5	6
その他の世帯 {	86.8	88.7
1人当り本数	4	5

第37表 欠損歯の業態別発現率 35年5月

	有 症 率 %	
	男	女
生産者世帯 {	38.1	43.5
1人当り本数	9	11
消費者世帯 {	35.4	42.7
1人当り本数	8	9
その他の世帯 {	40.1	47.4
1人当り本数	9	11